今治市市有林Ｊ－クレジットプロジェクト計画書作成業務仕様書

１　適用

本仕様書は、今治市（以下、委託者という。）が発注する「今治市市有林Ｊ－クレジットプロジェクト計画書作成業務」に適用する。

２　目的

本市では、市有林 3,295ha のうち、人工林を主体とする 2,172ha を管理しており、森林の有する生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供等の多面的機能が高度に発揮されるよう、各種取り組みを推進している。

これら森林の多面的機能を将来にわたり持続的に発揮させるためには、森林の適切な保全及び整備を継続していくことが必要であり、その実施を支える地域林業の活性化が重要となる。

本業務は、森林の有する CO2 吸収機能に着目し、本市森林による CO2 吸収量をカーボンクレジットとして活用することにより、森林整備の促進及び地域林業の活性化に資する仕組みの構築を図るため、令和９年度にＪ－クレジット登録申請を行えるよう、必要な調査、資料整理、関係機関との調整及び登録申請に向けた各種準備を行うことを目的とする。

３　業務期間

本業務の業務期間は、契約締結の日から令和９年３月 31 日までとする。

４　対象森林面積

過去施業面積　　約 35.59ha

今後の施業予定面積（人工林）　約 80ha

※森林経営計画（R8.12.14～R13.12.13 予定）は現在策定中であり、対象面積は施業履歴等の資料の精査により増減する場合がある。

５　業務内容

森林由来 J-クレジットの創出に向け、以下の業務を行う。

（１）必要書類、データの整理

（２）プロジェクト計画書案の作成（事前調査・図面作成等）
（３）プロジェクト計画書の提出に向けた打合せ
（４）業務報告書の作成

６　制度文書

事業の実施に当たっては、本仕様書の定めによるほか、以下のJ-クレジット事務局が定める最新の制度文書を遵守して実施するものとする。

（１）実施要項
（２）実施規定（プロジェクト実施者向け）
（３）実施規定（審査機関向け）
（４）モニタリング算定規定（森林管理プロジェクト用）
（５）方法論策定規定（森林管理プロジェクト用）
（６）方法論（森林 FO-001、FO-002、FO-003）
（７）約款（プロジェクト実施者向け）

７　情報管理及び情報保護対策

（１）受託者は、本業務で取り扱う情報について、個人情報、発注者から貸与された資料及び情報を適正に管理するものとする。なお、受託者が第三者に解析、集計等を依頼する場合は、市に書面により協議し、承諾を受けなければならない。
（２）受託者は、機密情報の提供、返却等の授受については、市と協議の上、行うものとする。

８　本市が提供する資料

（１）森林経営計画書

対象森林における森林経営計画書（R8.12.14～R13.12.13 予定）については現在策定中であり、落札事業者の業務開始時に提供する。

（２）過去施業履歴

公募型プロポーザル参加者に対し、データで提供する。

（３）森林簿

落札事業者の業務開始時に提供する。

9　成果品

（1）業務報告書3部

（2）上記電子データ一式

10　成果品の検査

業務において作成した成果品は、委託者の検査を受けこれに合格しなければならない。

11　守秘義務

受託者は、業務で知り得た内容を第三者に開示・漏洩してはならず、業務の完了後も同様とする。

12　その他

（1）令和9年度のプロジェクト登録に向けた審査機関との契約等については、次年度予算措置が確定してから実施する。

（2）本仕様書に記載のない詳細な項目、内容等については、市と受託者で協議し決めるものとする。

（3）成果納入後にあっても成果品に誤りがある場合には直ちに修正するものとする。